学校番号	115

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	５単位	年次	１年次
使用教科書	国語総合　現代文編／古典編　（東京書籍）						
副教材等	原色　新日本文学史（増補版）（文英堂） プレミアムカラー国語便覧（数研出版） 頻度分析高校漢字 SMART3000（いいずな書店） 読解のための必修古典文法　改訂版（文英堂）／　準拠ノート 三訂版プログレス（読解・論点・探求）現代文総演習基本編（いいずな書店） 適切な文を書くための文構造確認ノート（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では社会人に必要な国語の基礎的な力をつけるよう意識しましょう。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身につけてください。
・古典の時間では、古典の世界に興味を持って有名な作品に親しむとともに、内容を理解するために基本的な語彙力や文法の知識をしっかり身につけるよう、地道な努力を積み重ねてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業のあとにはわからないところはないか、振り返って復習してください。
・提出物の期限は守って、必ず出しましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい言葉を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・文章の内容や構成、登場人物の心情などを理解し、自分なりの考えを持つことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力を活用しながら豊かな感受性を育むことができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する姿勢を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語や言語文化への関心を持ち、課題に対して意欲的に取り組む。 自ら進んで意見や考えを表現する。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的・場所に応じて、筋道を立てて話したり、的確に聞き取り、その内容を理解する。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的・場所に応じて、筋道を立てて文章で表現する。	文章に込められた意思、感情を読み取る。論理の展開を読み取る。表現技法に込められた感情、感動を読み取る。	表現や理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・漢字などを理解する。
評価方法	行動の観察	行動の観察 発表	定期考査 ノート点検 感想文	行動の観察 定期考査 感想文	小テスト 定期考査 暗唱テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論一二	【近代以降】 教材 「水の東西」 「客観的と抽象的」	○			◎	○	a:文化の違いや言語感覚の問題に関心を持ち、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d:文章の筋道を的確にとらえ、筆者の考え方を理解している。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト
	小説一	【近代以降】 教材 「羅生門」	○		○	◎	○	a:人物、情景、心情などを読み取り、文学を味わおうとしている。 c:感想文をまとめる。 d:人物、情景、心情などを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 c:感想文提出 d,e:記述の確認及び分析
	古文入門	【古典】 教材 『宇治拾遺物語』 「絵仏師良秀」 『十訓抄』　「大江山の歌」 『徒然草』 「ある人弓射ることを習ふに」 『竹取物語』 「天の羽衣」 文法等…歴史的仮名遣い、文語の動詞の基礎	○			◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、内容を的確に理解しようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、内容を的確に理解している。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

2学期	評論三四	【近代以降】 教材 「＜顔＞という現象」 「言葉は「ものの名前」ではない」	○			◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい語句、表現の技法が用いられているかを考察しようとしている。 d:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい語句、表現の技法が用いられているかを考察している。 E:現実認識の仕方について、先入観を排する方法論について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d,e: 記述の確認と分析及び定期考査
	短歌と俳句	【近代以降】 〈短歌の代表的な作品を鑑賞する〉 教材 「十五の心―短歌抄」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どのように歌われているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どのように歌われているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e:短詩型の特色を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d,e: 記述の確認と分析及び定期考査
	小説二	【近代以降】 教材 「城の崎にて」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを読み取り、文学を味わおうとしている。 c:「命」について考えてみよう。 d:人物、情景、心情などを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:擬声語、擬態語の効果を考え、抑制された文体を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d,e: 記述の確認と分析及び定期考査

	評論五	【近代以降】 教材 「映像文化の変貌」	○			◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい語句、表現の技法が用いられているかを考察しようとしている。 d:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい語句、表現の技法が用いられているかを考察している。 e:現代社会の問題点に気付き、理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d,e: 記述の確認と分析及び定期考査
	古文	【古典】 教材 『伊勢物語』「芥川」「筒井筒」 文法等･･･助動詞	○			◎	○	a: 登場人物の言動や行動から人間の生き方について考え、豊かな表現を味わって関心を深めようとしている。 d:登場人物の関係や行動を的確に捉えている。 和歌や俳諧などの地の文とは異なる表現を読み味わっている。 e: 古文を読むために必要な、助動詞の知識を身につけている。 和歌や俳諧の修辞技法の知識を身につけている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:行動の観察、記述の確認及び定期考査 e:小テスト、暗唱テスト及び定期考査
	漢文入門	【古典】 教材 入門一、二 故事成語「朝三暮四」 「塞翁が馬」 句法等…訓点、再読文字、助字、置き字	○			◎	○	a:我が国の言語文化と中国の文化との繋がりを理解しようとしている。 d:文章の組み立てや骨組みを的確に捉えている。 e:漢文の訓読に役立つきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認と分析及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	古文	【古典】 教材 『平家物語』「木曽の最期」 和歌－『万葉集・古今集・新古今集』 文法等…助動詞	○			◎	○	a: 登場人物の言動や行動から人間の生き方について考え、豊かな表現を味わって関心を深めようとしている。 歌風の変遷を理解し、関心を持とうとしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:行動の観察、記述の確認及び定期考査

								d:登場人物の関係や行動を的確に捉えている。 和歌や俳諧などの地の文とは異なる表現を読み味わっている。 各歌集での感性と技巧のかかわりを読み取ろうとしている。 e: 古文を読むために必要な、助動詞の知識を身につけている。 和歌や俳諧の修辞技法の知識を身につけている。	e:小テスト、暗唱テスト及び定期考査
3学期	詩	【近代以降】 教材 「小景異情」室生犀星 「汚れつちまつた悲しみに･･･」中原中也	○	○	○	◎	○	a:社会と自分の関係を考える。テーマ、モチーフの違いを見る。 b:作品の印象・テーマを考察し、発表する。 c:感想文をまとめる。 d:言葉に込められた感情を意識し、ふさわしい読み方をする。音韻的な特徴を理解する。 e:心情・表現の特色・技巧を理解し、味わう。	a,b:行動の観察及び記述の点検 c:感想文提出。 d:記述の確認と分析及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	評論六	【近代以降】 教材 「生物の多様性とは何か」	○	○		◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、内容にふさわしい語句、表現の技法について考察している。 b:論拠・例示を重ねて論を進める話し方を知る。 d:比較により論を構築する評論文を読解する。 e:評論文特有の語彙に慣れる。	a,b:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認と分析及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	俳句	【近代以降】 教材 「白牡丹ー俳句抄」	○			◎	○	a:場面、心情などを捉え、凝縮された言葉の深さに気付こうとしている。 d: 場面、心情などを捉え、凝縮された言葉の深さに気付いている。 e:短詩型の特色を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d,e: 記述の確認と分析及び定期考査

3学期	古文	【古典】 教材 『奥の細道』漂泊の思い・平泉 文法等…助動詞	○			◎	○	a: 登場人物の言動や行動から人間の生き方について考え、豊かな表現を味わって関心を深めようとしている。 d:登場人物の関係や行動を的確に捉えている。 和歌や俳諧などの地の文とは異なる表現を読み味わっている。 e: 古文を読むために必要な、助動詞の知識を身につけている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:行動の観察、記述の確認及び定期考査 e:小テスト、暗唱テスト及び定期考査
	漢詩	【古典】 教材 唐詩「春暁」「江雪」「送元二使安西」「涼州詞」	○			○	◎	a:中国語の詩が日本に受容されてきたことや普遍的な心情の理解。 d:訓読の規則の確認。 リズムを味わっている。 e:詩形、技巧、時代背景、作者の境遇を知り、作品を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認と分析及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に関わる観点には◎を付している。

※ 漢字小テストを朝学習（BT）の時間に週２回実施する。